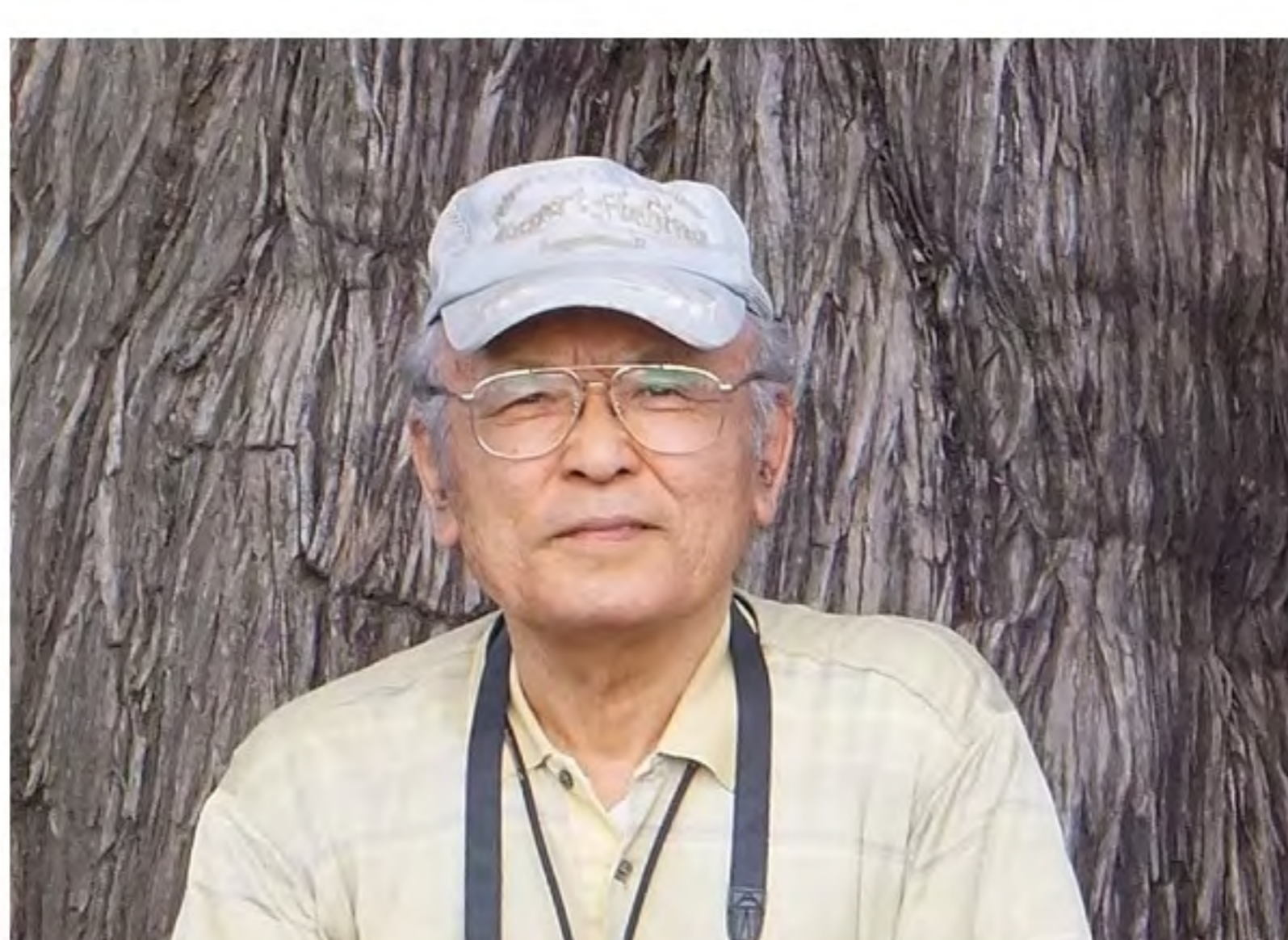


いつも現役!! 『日本書紀』にない古代史をひもときたい

タグ #2022/10 #いつも現役 #セカンドライフ #人物 #歴史 #福岡

フロムOBいつも現役

2022/10/12

フロムOB
いつも現役!!

佐野 義明さん（福岡県在住 84歳）

2014年に、国内外の巨樹・巨木に魅せられた日々の様子をこのコーナーで紹介した佐野義明さん。今度は歴史に魅せられ、地元九州の遺跡や発掘現場をめぐるなど、ますます充実した毎日を送っているようです。

9万年の時を超える「太古木」と対面

2017年7月、福岡県・大分県を中心に大きな被害をもたらした九州北部豪雨によって、思いもよらぬ発見がありました。場所は、日田彦山線の宝珠山駅近くの大肥川のカーブです。豪雨で川岸が崩落し、地中に埋まっていた樹木が露出したのです。2018年3月に現地説明会があり、参加しました。発見された埋没流木は、長さおよそ4メートル、9万年前の阿蘇山大噴火(噴出量は6,000億m³)の火砕流によるもので、マツ系の大木とのことでした。その大木は、当時の大噴火の威力や、火砕流に覆われる前の森の環境などを解明する手がかりとして、2021年12月に国の天然記念物に指定されました。

そのほか、1993年5月に佐賀県上峰町八藤丘陵で発見された埋没樹木の現地説明会にも参加しました。



火砕流で焼け焦げ、地中に埋まった大木。9万年前の阿蘇山大噴火を今に伝える

歴史への興味は尽きることなし!

また、元寇に関する遺跡にも興味があり、あちこちの遺跡を訪ね歩いています。福岡市の海岸には、鎌倉幕府が蒙古の博多湾再襲来に備えて九州の御家人たちに造らせた石垣「元寇防塁」の一部が残っています。こうした遺跡や古戦場跡、蒙古兵士たちを供養する「蒙古塚」などを訪ねて、「元寇の役」当時の国防や、九州の御家人たちがどう戦ったのか、思いをはせています。熊本県南小国町には北条時宗の時代に戦勝祈願のお寺として建立された「満願寺」があり、2022年6月には技術OBの仲間とともに満願寺を訪ねました。



生の松原地区にある「元寇防塁遺跡」



自転車は遺跡・史跡めぐりの相棒



南小国町 地熱温泉の宿で技術OBの仲間と（左から島崎 昌二さん、筆者、迫 一郎さん）

こうした「太古木」の発掘現場や「元寇遺跡」を訪ね歩くようになったのは、妻の妹（土肥直美）が沖縄で石垣島の縄文人の人骨を研究していたこともきっかけになりました。義妹の著書『沖縄骨語り』等の本を読んで刺激を受け、人間のルーツはどこにあるのか、北部九州の縄文人に関して興味がわいたのです。

今、興味を持っているテーマの1つが「磐井の乱」の時代です。『日本書紀』には、527年、筑紫国を支配していた豪族・磐井氏が新羅と手を組んでヤマト政権の朝鮮出兵を阻んだと記され、磐井一族は戦後まで朝廷の敵と語られてきました。福岡県八女市古墳群には「石人石馬」と呼ばれる石でできた埴輪のような彫刻が数多く見つかっており、ヤマト政権の兵が石人石馬を打ち壊したという記録も残っています。果たして「磐井の乱」の真実とは.....? 『日本書紀』に書かれなかった、古代の歴史を調べたいと思っています。福岡県糸島市にある来目皇子（聖徳太子の弟）をまつた神社を訪ねる計画も進行中、私の興味は尽きることがありません。

プロフィール

佐野 義明（さの よしあき）さん（九州旧友会）

1938年生まれ、1960年入局。初任の福岡局以降、大分や沖縄など一貫して技術畑を歩み、1993年に定年退職。その後、NHKアイテック九州総支社に5年間勤務。

→その他の「フロムOB!!いつも現役」を読む

< 前の記事

記事一覧へ

Houji/ババママインタ 寝か...